

議 平生町 議会だより

9月議会報告

第162号

9月定例会9/9～24(16日間)

2021年10月22日

発行 平生町議会 発行責任者 中川 裕之
〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
E-mail gikail@town.hirao.lg.jp
編集 議会広報広聴調査特別委員会
印刷 中村印刷株式会社



みのりの秋 ～おいしいお米を収穫しています～

主 な 内 容	定例会・決算特別委員会	2～3ページ
	いっぱん質問 4人	4～7ページ
	ごみ減量・リサイクル活動の推進／子どものスポーツ活動の推進 災害から身を守る危機管理意識／商工業の活性化と支援／町内の学校の校則 再エネ大量導入への課題／町内のため池	
	人事案件（教育委員会委員、人権擁護委員）・請願審査報告	7ページ
	新庁舎整備調査特別委員会・臨時会	8ページ
	魅力ある議会づくり調査特別委員会調査結果報告・継続調査	9ページ
	意見書を採択・議会の動き など	10ページ

9月 定例会

9月9日～24日

令和3年第9回町議会定例会には、議案として補正予算3件、条例2件、事件1件、認定7件、報告14件、同意1件、諮問2件が上程されました。

認定7件については、議長、監査委員を除く9名で決算特別委員会を設置し、審査を行いました。

最終日には、議会運営委員会から意見書案の提出があり、また、追加の補正予算が提出され、各議案は、全会一致及び賛成多数で可決されました。

- ▽一般会計補正予算
 - 4億509万6千円増
 - 63億8,990万6千円
 - 主な歳入
 - ▽地方交付税 1億3,889万6千円増
 - ▽民生費国庫負担金 330万円増
 - ▽衛生費国庫負担金 419万9千円増
 - ▽総務費国庫補助金 1億4,350万9千円増
 - ▽土木費国庫補助金 2,607万7千円増
 - ▽総務費県委託金 780万円増
 - ▽寄附金 1,000万円増
 - ▽繰越金 7,614万5千円増
 - 主な歳出
 - ▽財産管理費 2億9,572万5千円増
 - ▽新庁舎整備事業費委託料 803万円増
 - 公共施設建設基金積立金 500万円増
 - ▽参議院議員補欠選挙費 784万8千円増
 - ▽社会福祉総務費繰入金 1,318万8千円増
 - ▽障害福祉費 660万円増
 - ▽土木総務費補助金 2,607万7千円増
 - ▽事務局費 461万5千円増
 - ▽備品購入費
 - 国保特別会計補正予算
 - 一般会計繰入金、繰越金など2,312万円を基金に積み立てるもの。
 - 介護保険特別会計補正予算
 - 繰越金2,785万8千円を基金に積み立てるとともに国庫に返還するもの。
 - 条例改正
 - 町章は、町旗は、町章を採用し、色は白地にえんじ色の町章とするもの。
 - 町章条例の一部改正
 - 町旗は、町章を採用し、色は白地にえんじ色の町章とするもの。
 - 押印の見直し
 - 固定資産評価委員会、職員の職務の宣誓、火入れに関する条例で押印を廃止するもの。
 - 事件
 - 国道188号線宇佐木地区の公共下水道渠布設工事を6,014万2,500円で変更契約するもの。

常任委員会審査報告

総務厚生

本会議から付託された案件を9月16日に審査した結果、すべて全会一致で可決すべきとしました。

審査の中で、新庁舎整備事業について案内板等作成設置の詳細説明を求め、執行部からは、住民サービスや来庁者への配慮の観点から重要な機能であり、最優先する必要がある旨の説明があった。委員からは、住民の利便性を熟慮されての提案であり、費用に見合う効果はあるとの考えが示された。

産業文教

本会議から付託された案件を9月17日に審査した結果、すべて全会一致で可決すべきとしました。

議案第46号工事請負契約の締結について、変更理由について質疑があり、推進工事を30m延伸する旨の回答があった。

一般会計補正予算 に対する討論

反対討論

赤松議員

案内看板ですべてが解決するわけではない。どこの部署に行けばよいのかが分からない方は、職員に聞くしかない。計画通り、100万円のままでは言わないが、適正な金額に抑えるべき。

賛成討論

中村議員

庁舎案内板等作成設置803万円について、今の時代に庁舎を整備するのであれば、ユニバーサルデザインを考えからも欠くべきでない。

また、新庁舎整備に係るアンケートの意見や新庁舎整備への多額の寄付の使途のひとつとしても、住民サービスのスケールアップとしての意味は十二分にある。

住民の方が誰に尋ねることなく、目的の窓口までたどり着ける庁舎であってほしいが、職員の親切な応対も不可欠だが、ユニバーサルデザインと、職員の接客がマッチすることで利用しやすい庁舎となる。

令和3年 第9回定例会審議結果 (反対があったもの)

議案番号	件名	審議結果
議案第41号	令和3年度平生町一般会計補正予算	原案可決 <反対1>
認定第1号	令和2年度平生町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案可決 <反対1>

議会最終日の24日、追加の補正予算が提出されました。主な補正内容は、8月の豪雨による災害復旧と湊の沖ポンプの排水管の修理です。主な財源は、基金からの繰入金と災害復旧債です。全会一致で可決しました。

一般会計補正予算 (追加)

746万5千円増
63億9,737万1千円

決算 特別委員会 9月14日~15日

一般会計決算の 主な質疑

- 質** 人勤に基づき職員
の期末手当を減額し
たが、その影響は。
答 0.05カ月減額
となった。影響額は
合計で196万円。
- 質** コロナ地方創生臨
時交付金について、
国から求められている
の実施状況の公表、
効果の検証に該当す
るものとして決算附
属資料に載せたのか。
効果の測定が抜けて
いないか。
答 コロナ感染拡大で
多くの事業に影響が
出た。影響を少なく
するために、どのよ
うな事業を行ったか、
後々に残しておくた
めに記載した。
- 質** 効果の測定や公表
の仕方は国から示さ
れるのでそれに基
き公表する。
質 マイナンバーカー
ドの交付件数が増え
ているが要因は。
答 マイナンバーの
付与が大きな要因。
また、毎月第一日曜
日に休日窓口を開設
し取得促進に努めた。
- 質** 森林環境整備基金
は、令和5年頃から
財源が変わると思
うが。
答 令和6年度から個
人住民税の均等割に
1,000円上乗せ
される。
- 質** 森林環境整備につ
いての考えは。
答 森林経営管理制度
があり、基金を活用
しながら適切な管理
を呼びかけ、難しい
場合は町も一定の支
援をしていく。
- 質** 新規漁業就業者定
着促進事業は進んで
いるか。
答 3名の新規漁業者
が操業している。面

反対 赤松議員

令和2年度を振り返って、特別定額給付金事業において体制をとり円滑に給付が進んだこと、独自施策として子育て世代を重視した対応は、評価すべきものと思っている。

国の施策を反映して、マイナンバーカードの普及が行われてきたが、政府が所得や資産、税や社会保障給付など、個人データを掌握し、社会保障給付の削減を進めようとするもの。また、人事院の勧告とはいえ、地域の労働者の賃金にも影響をあたえ、職員の士気にも係わる期末手当減額は賛成できない。



賛成 河内山議員

令和2年度は第4次総合計画の最終年度となるが、持続可能な財政運営に掲げられた実質公債費率など6指標の内5つの指標で目標が達成され、評価する。

令和2年度決算は平成30年以来、実質単年度収支で1億4,862万4,785円の赤字となった。基金の取り崩しが積立額を上回ったためだ。基金に頼らない財政運用を目指す、基金残高の確保に取り組むというが、数字で表れていない。

基金積み立てに対する意識が共有されていないのではないか。また、施策の継続、中止、新規の判断基準が根拠に基づき検証されていないのではないか。第4次総合計画の最終年度、決算の収支状況を総合的に判断し、賛成する。

賛成 中村議員

令和2年度の予算、歳入・歳出決算は過去最高額となった。形式収支は3億2,244万5,033円、実質収支は1億614万5,333円の黒字だが、実質単年度収支は1億4,862万4,785円の赤字となった。財政状況の指標は、経常収支比率が88.8%で前年度比3.0ポイント改善、実質公債費比率は12.5%で前年度比0.2ポイントの改善となった。年度末の町債残高は44億2,528万6千円で前年度比1億3,728万8千円の減少。財政基金は、3億6,670万円となっているが、コロナ対応地方創生臨時交付金の国庫への返還などで基金を取り崩した1億4,000万円を考慮するならば、前年度と同程度の基金残額である。数値的評価として努力の跡が見える。

令和2年度はコロナ感染症対策が最大の特徴。一人10万円の給付金事業をはじめ、町独自の取り組みも積極的に実施された。専決処分をした補正予算を除き、11回の補正予算を4回の定例会と6回の臨時会を開いたことは議会を尊重するものであり高く評価する。町独自の取り組みについて、効果はすぐに表れるとは限らないが、成果の検証を求め、賛成討論とする。

質 談もしながら支援している。また、コロナ禍で水揚げにも影響があり、水産業への補助金を計上した。
答 GIGAスクール構想の子ども達への影響は。
質 一人一台端末の環境が整い、子どもたちはタブレットドリ

ルなどの学習に活用している。また、五感に訴えるような活用方法についても今後発展していくと考える。

監査委員 決算審査意見

要旨

予算現額に対する一定程度の不用額と不執行について聴取を行い、確実な執行と適切な管理を指導した。第四次総合計画の最終年度であることから、事業及び計画の成果指標等の評価・検証、第五次総合計画への反映等の報告がなされるべきだが、多くの課において報告がなされなかった。事業の実施に当たってはPDCAサイクルを意識した取り組みを行うこと、また、PDCAサイクルに基づいた報告を徹底されたい。

新型コロナウイルス感染症による地方財政への影響は極めて深刻であり、より厳しい財政状況になることが予測される。今後も財源確保に努め、事業の整理や評価、選択と集中を図り、限られた財源の効率的な配分と経費削減を行い、適正な予算の執行に努められたい。



細田留美子 議員

いっぱん質問



が聞きたい



質 住民の協力でごみ減量対策を

答 町民、事業所の理解を得ながら継続して取り組む

質

平生の令和元年のごみ処理費用は1億8千万円余りだ。焼却施設の老朽化や埋立地の状況を考えるとごみの減量化とリサイクルの推進は早急に取り組むべき課題である。

町内の1人1日あたりのごみの排出量は1105gでその体積の半量が紙布だ。これは資源化が可能だ。重量の3〜4割が水分でこれは食品を余らせない買い物術や料理の仕方、生ごみの水切りで減量できる。住民の協力で大きな成果が出る。

3月に一般廃棄物処理基本計画が示された。不法投棄や感染防止対策が必要なごみ、災害時に出る大量のごみ等の対策はどうするのか。ごみの適正な処理で環境への負荷を軽減するなど循環型社会を形成していく必要がある。どのように取り組むのか。

答

町長

計画では、有用な廃棄物を資源として活用しながら、ごみの発生抑制を図るとともに、廃棄物の適正処理により環境への負荷を軽減するなど環境型社会の形成を促進することで、安全で快適に暮らせる町づくりを目指していく。

また、周東環境衛生組合清掃センターなど、施設には老朽化も見られるので必要な補修工事を行いながら安定的なごみ処理を行っている。

災害廃棄物については、その時々々の量によって処理を工夫したい。

環境型社会の実現に向けて、ごみの減量化やリサイクル化を促進し、町民、事業所の理解を得ながらごみの排出抑制に継続して取り組むことが重要と考えている。

質 子ども達の夢を叶える政策を

答 課題を共有して検討していく

質

少子化や指導者の高齢化、教員の働き方改革等の影響でスポーツ少年団や中学の部活など組織的なスポーツ活動が低下している。

子ども達の将来の夢に「プロスポーツの選手になって活躍する」と書く子どもがいる。夢の後押しはできないか。

五輪開催の影響でスポーツへの関心が高まっている。この機運を活用したスポーツによるまちおこしの取組みは考えられないか。

答

教育長

専門的な指導力のあたる方、教員も含めて、大変重要と考えている。

学校の体育に対する活動や地域スポーツを通じて、体を動かし、楽しさや意義、価値を実感できる環境の整備、そしてスポーツに取り組む態度の育成に向けて関係団体等と引き続き課題を共有し、ともに検討を進めていく。





中本敦子 議員

質 災害から町民の身を守る手助けを

答 自助・共助・公助により、協力・支援していく

質

テレビで気象予報士等が「いつ、どこで何が起こるかかわからない。ハザードマップを確認し、早目の避難行動をとり自分の身は自分で守りましょう。」と呼びかけるニュースが頻繁に流れる。

答

町長

①ハザードマップを用いて、どこにどのような災害が起こり得るかなどを事前に知ることで、日頃から災害時の避難行動をする上で有効な防災情報のひとつとなっていることを防災訓練、出前講座等で説明している。

②要配りよ者への避難支援については、自助・共助で必要な支援を受けることができない方に対して、平生町防災福祉要配慮者支援マニュアルにより、公助による避難支援を行うこととしている。

③大規模災害時は、人員不足も想定されることから、行政と地域コミュニティレベルで相互協力できる体制づくりが必要である。

④現在、携帯トイレを備蓄しているが、今後はマンホールトイレの導入について調査研究していく。

質 商工業の活性化と支援

答 活性化につながる仕組みを検討していく

質

答

町長

コロナ対策支援事業プレミアム付商品券発行は、多くの加入業者の一覧表も添付され町民の選択肢も広がり喜んでいいる。行政や商工会、業者等の協力や努力を感じる。終了後の集計から買い物動向等、ひきつづいて、町内業者の活性化が継続できる対策、検討が必要と考えるが、常日頃から町内業者を利用する呼びかけも必要ではないか。

町長

プレミアム付商品券については、その経済効果について集計を行ったうえで、町商工会とも連携を図りながら今後の町内事業者との取引が継続するような仕組みについて検討し、町内事業者の活性化、産業振興に役立てたい。

町の物品購入については、入札参加資格審査申請の提出状況などを参考にしながら、取扱いのある町内業者はもとより、必要に応じて町外業者も含めて見積りや入札などの選定手順により調達先を決定している。





赤松義生 議員

その他の質問

- ・高齢者などの交通対策について
- ・町の防災体制について

質 学校の校則は社会の常識に合っているか

答 積極的な見直しを図っている



質

2017年9月に大阪の女子高生が黒染めを強要され、裁判を起こしたことが社会に波紋を広げた。

2018年3月の参議院で文部科学大臣が「校則の見直しの必要性を認め、その際には生徒の参加が好ましい。」と答弁している。本年6月8日文部科学省は校則が子供の実情や社会的な常識などに合った内容になっているか、見直すよう求める通知を全国の教育委員会に出しているが、平生町での対応は。

答

教育長

本町においては学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況の変化から絶えず積極的な見直しを図っていく認識は各学校でされている。

例として、平生中学校では、校則の見直しの意見収集は生徒指導委員会で行うが教職員や生徒、保護者から意見があると、生徒会役員と担当教員で協議を行う。そして、保護者の意見が必要な場合は、反映させ、その後、生徒総会で協議を行い、職員会議を経て最終的に校長の権限で決定となる。

町教委では、児童生徒の実情、保護者の考え方、地域の状況、社会の常識、時代の進展など踏まえつつ、十分な連携のもとで引き続き学校を支援していく。

質 再エネ規制条例を検討すべきではないか

答 全国の事例を調査しながら研究したい



質

国際的な気候変動対策、また、脱炭素社会への移行は待ったなしの課題だが、平生町においては、風力発電がいち早く設置され、現在は太陽光発電のパネルが町のあちこちで見られる状況になっている。

7月29日時点で全国では、156自治体が再生可能エネルギー発電設備に関する条例を制定しているところだが、本町の現状を考えると全国の条例を検討し、対応が必要ではないか。

答

町長

太陽光発電事業者が全国から本町へ流れ込み、地域住民との関係が悪化する事業者が出るなどさまざまな問題がおきている。土地所有者と事業者の契約により進められており抑制を行うことは困難な状況。現在、法で事業者が受ける固定資産税の優遇措置については、野立ての太陽光発電施設については除外し、抑制を試みているが、ある程度の法的な対応が必要であると判断している。

現在、県に対し、山口県太陽光発電施設の安全な導入に関する条例の制定を要望し、町としても、全国の事例を調査しながら研究していく。



村中仁司 議員

質 農業用ため池の現状と今後の利活用は

答 相談があれば検討していく

質

農業用ため池の天池は、所有者が自然人となっていて自然人はどういった人たちなのか。もし、水漏れが発生した時の修理は自然人の人たちが修理をしなければならぬのか。

次に八海ため池は所有者、管理者は平生町となっている。現在八海ため池の周りは太陽光発電施設が多く建設され、八海ため池は農業用水としての役目が少なくなっており、今の貯水量は足りないのではないかと。国道のそばで一万平米以上の広さがあり、埋め立てて企業誘致、残土運搬地、災害ごみの仮置き場にもなるし、いろんな活用ができるのではないかと。どういった経緯で平生町となったのか。水利権は何軒なのか。

答

町長

自然人とは、個人や規約のない団体である。天池は、個人情報保護の観点から管理者・所有者ともに自然人となっている。水漏れ等の修理は、ため池の所有者が行うものである。

八海ため池は、昭和27年に八海ため池水利組合が結成され農業用水等に利用されていたが、水利権者の減少等により平成14年に水利組合は解散した。現在、水利権者はいない。平成21年に県事業の残土処理場としての活用が検討されたが、絶滅危惧種等が確認され、環境面への配りよから現在に至っている。町内のため池は143か所であり、うち町所有は11か所である。所有者や管理者から相談があれば対応について検討していきたい。

人事案件

人権擁護委員の推薦を承認しました



木谷 巖氏

木谷巖さんは、平成28年から現在まで2期6年間お務めいただいておりますが、引き続き人権擁護委員としてご活躍をお願いします。



今村 富士乃氏

今村富士乃さんは、長い教育現場での経験から人権教育関係にも精通された方であり、さらに人格、識見が高く、広く社会の実情に通じておられます。

平生町教育委員会委員任命に同意しました



伴 浩一氏

伴浩一さんは、教育現場での長い経験をおもちで、令和2年度からは平生小学校運営協議会委員として活躍されております。地域におきましても、住民の方々の良き指導者として、また、教育に対する強い熱意もお持ちの方です。

請願審査報告

請願第1号

「平生町学校給食基本構想に関する請願」

平生町学校給食基本構想において、今後の検討課題を協議していくうえで、新たに協議会のメンバーに平生町の商工業者、平生小・平生中学校にそれぞれ在籍している児童生徒の保護者、平生町内で子どもの教育・食育に関心をもっておられる方のそれぞれの代表者を若干名加えてもらいたいという請願です。

請願の審査は、産業文教常任委員会に付託され、地域経済に対する影響に関する資料の提出を執行部に求め、継続調査となりました。

協議事項

議場の設えについて

▼これまで同様に議場正面端にも出入り口を設ける。

▼できる限り席の配置スペースを確保したい。

▼車いす対応は可動式のスロープまたは車いす用の電動昇降機等で対応したい。

▼席の配置を見直すことを可能とするため、固定式ではなく、可動式のものを採用したいと考えている。

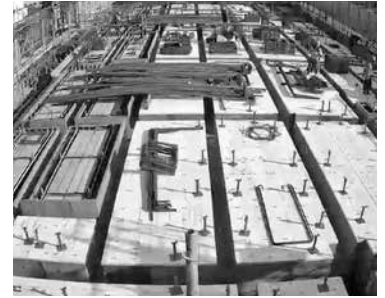
▼議事堂における国旗、町旗の扱いについては議会に願います。



協議事項

工事の進捗状況について

▼現在は、2階床の型枠を全体に張り終わり、2階の壁の配筋に取りかかっているとあります。また、7月20日からは第3庁舎3階会議室の改修にかかっています。



主な質疑

【質】議長席、副議長席、事務局長席の配置については、早急に決めないといけないのか。

【答】発注のための提案仕様書の作成に席数に必要である。配置についてはその後の変更は可能と思う。

【質】質問席の設置を希望する。傍聴者にとっても、質問者が一目瞭然だし、飛沫防止にもなつて、安心して大きな声で発言できると思う。

【答】質問席を設置ということになれば、車いす対応については、そこでは立ったまま、もしくは昇降式化ということが検討事項として出てくる。車いす対応については必要不可欠という考えで臨まないといけないと思っ

協議事項

工事の進捗状況について

▼現在は、2階床の型枠を全体に張り終わり、2階の壁の配筋に取りかかっているとあります。また、7月20日からは第3庁舎3階会議室の改修にかかっています。

庁舎案内表示について

【質】窓口番号プレートを色分けすることのことであるが、床にも色分けで線を入れておくと、間違いがなく誘導しやすいのではないかと思う。

【答】病院で取り組みがあるように、床に矢印案内をしている自治体も確かにある。本町でもそのような提案もあったが、それよりも目線の高いところでということ、そこに絞った選択をした。

臨時議会

第7回 8月4日
第8回 8月19日

令和3年第7回平生町臨時議会が開かれ、補正予算1件が上程され、全会一致で可決され閉会しました。

補正予算

▽令和3年度平生町一般会計補正予算

▼小中学校におけるI・C T環境整備にかかる予算で、補正額2,227万3千円を増額し、予算総額が59億7,986万8千円となるものです。

主な質疑

【質】所得の低い家庭へのデジタルツールの使用による負担軽減は。

【答】就学援助の家庭については就学援助の一部として通信費の項目を追加して支援することを考えている。

令和3年第8回平生町臨時議会が開かれ、補正予算1件、条例1件が上程され、いずれも全会一致で可決され閉会しました。

補正予算

▽令和3年度平生町一般会計補正予算

▼敬老会行事に代わる記念品にかかる経費で、補正額494万2千円を増額し、予算総額が59億8,481万円となるものです。

条例

▽平生町個人情報保護条例の一部を改正する条例

【例】デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定が改正されることに伴い、本条例の条文中で当該法律の規定を引用している文言の整理を行うものです。

主な質疑

【質】これまでの敬老会行事等に対する政策との整合性と、今後この政策をどう展開していくのか。今回は財政基金からの繰り入れだが、今後、国に働きかけて国の財政措置が得られるのか。

【答】コロナ禍の中での敬老会行事はできないが、敬意を表して何かをしてあげたい。商品券で何か欲しいものを買っていただくことが一番いいのではということ、今回はそうさせてもらった。コロナ禍が収束すれば今までの通りの敬老会行事をしていく。今回は基金の取り崩しで対応した。コロナ交付金が全額予算上になつていて、執行残が残る可能性がある。この執行残を当てたいというのがある。市町村に対して交付金の配分を国に働きかけていきたい。

魅力ある議会づくり調査特別委員会調査結果報告



魅力ある議会づくり調査特別委員会では令和元年9月の設置以来、2年間に9回の委員会を開催し、慎重に審査を重ねてきました。

誌面の都合により、すべての調査内容を掲載することは叶いませんが、主な調査結果は次のとおりです。

1. 議員報酬について

若年層や多様な人材を広く求めるためには増額が望ましいが、現時点での町の財政状況からは困難であろうとの理由により、現行の報酬額を維持することとした。

2. 議員定数について

委員会での審査をはじめとする議会が持つべき機能の保持・安定化のため、現状の12人を維持し、これ以上減らすべきではないことを確認した。

3. 議会の活動について
議会の活動として委

員会活動の活性化を図っていくことを確認した。

4. なり手不足について

住民が主体的に町政に関心を示してもらうことができれば、解決につながるのではないかと。また、経済的な問題については、選挙公営の条例が制定されたため、当面は推移を見守り、本制度の広報に力を注ぐ必要がある旨を確認をした。

5. 広聴について

報告会等を開催し、住民と議員との町政に対する認識の乖離を埋めていく作業が必要であるが、参加人数の低迷や固定化などデメリットが顕在化している。こうした状況下において、メリットについて引き続き検討が必要であることを確認した。

6. 町民アンケートについて

アンケート結果については多くのご意見に現状を再認識した。過去と現在、そして未来の議会活動に生かしていくこととする。

なお、調査結果の報告書には、これまでの活動の経緯とその結果を掲載しておりますので、詳細につきましては、町ホームページおよび議会事務局にて閲覧いただき、報告書から読み取りいただきたいと思っております。

むすびに、魅力ある議会づくり調査特別委員会としての活動は、一旦終了しますが、二元代表制の一翼を担う平生町議会が常に町民に寄り添い、社会情勢の変化等を勘案して、たゆまぬ議会活動を活性化させ、それぞれの使命と役割を果たしていくことをお約束して報告いたします。

継続調査案件（閉会中の委員会活動）

総務厚生常任委員会

8月12日に委員会を開催し、閉会中の継続調査案件について調査を行いました。

防災対策について、初動体制等の調査を行い、注意報が出れば第1警戒体制、警報が出れば第2警戒体制ということで対策をとっているとの説明があり、災害に対して十分な体制を確保し、住民の安心の確保と職員の安全の確保をお願いしました。

地域福祉においては、高齢者福祉計画について具体的な実施内容について調査を行い、介護人材の育成と質の高い人材の安定確保定着に向けてキャリアアップ研修の積極的な受講を推奨し、人材の育成・確保に努めていくと説明がありました。また、筋力向上トレーニング事業では、効果として3か月間継続して実施することで負荷評価において筋力アップの結果がでており、身体機能向上や精神機能面においても好影響を及ぼし、相乗効果で介護予防につながっていると説明がありました。

公共施設の管理では、個別施設計画について調査し、計画に基づき施設の統廃合について検討をしていくとの説明がありました。

産業文教常任委員会

7月29日に委員会を開催し、学校教育の振興について調査を行いました。

小・中学校の留守番電話の導入について、現在は試行期間であり、9月中旬をめどに本格実施に向けて進んでいるとの報告がありました。

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、接種を希望する児童生徒は約68%で、9月中旬に接種を終えることができるよう学校医に依頼したとの報告がありました。

また、タブレット端末の活用について説明があり、クラウド環境の整備、破損した時の対応、登下校時の運び方などの課題について示されました。

小中学校における※ICT環境の現状と課題について、一人一台端末の校内管理システムサーバーの不具合により、新たにクラウドサーバーを整備する必要がある旨の説明がありました。

※ICTとは、情報通信技術のこと。
情報通信技術を使い、人とインターネット、人と人が繋がる技術、IT技術を使ってどの様に人々の暮らしを豊かにしていくかなどの活用方法のこと。

1 2月定例会会期（予定）

11月30日(火)	9 時)	議会運営委員会
12月2日(木)		全員協議会
13日(月)		本会議
14日(火)		本会議
15日(水)		産業文教常任委員会
16日(木)		総務厚生常任委員会
20日(月)		議会運営委員会
21日(火)		本会議

議会の動き

(R 3. 6. 15 ~
R 3. 9. 8)

- 6月15日 第6回定例会
～24日
- 6月15日 議会広報広聴調査特別委員会
- 6月24日 議会全員協議会
" 新庁舎整備調査特別委員会
" 魅力ある議会づくり
調査特別委員会
- 6月28日 議会広報広聴調査特別委員会
- 7月5日 議会広報広聴調査特別委員会
- 7月9日 議会全員協議会
- 7月12日 議会広報広聴調査特別委員会
- 7月27日 柳井地区広域消防組合議会臨時会
- 7月29日 産業文教常任委員会
- 8月4日 第7回臨時会
- 8月12日 総務厚生常任委員会
- 8月19日 第8回臨時会
" 議会全員協議会
" 新庁舎整備調査特別委員会
- 8月30日 議会運営委員会
- 9月1日 議会全員協議会

原稿募集
議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。
・字数 400字以内
・提出先 平生町役場議会事務局
議会広報担当者
紙面の都合で一部変更することもありますが、ご了承ください。
掲載文には薄謝を差しあげます。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書を採択

新型コロナウイルスの感染拡大によって、社会保障の拡充等により財源不足が避けられなくなっていることから、国に対して、一般財源の総額の確保と地方税財源の充実のための地方税制改正を求めるものとなっています。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和3年9月24日

山口県平生町議会

編集後記

コロナ禍で人の動きも制約され経済活動も縮小し、大変な世の中になりました。

コロナ禍中で行動は制限されていますが、人々は何かをして生活していかなければなりません。新しい生活様式も始まり、コロナ克服をしている途中です。

祖先の人たちもこれまでいような困難に立ち向かい解決してきました。

江戸時代にイナゴ被害で、ほとんど米がとれず多くの人が餓死しましたが、その後クジラの油をまくことによってイナゴの幼虫を殺すことが出来ました。先の大戦では多くの人が亡くなり、大きな被害も受けましたが、日本は見事に立ち直りました。阪神・淡路大震災、東日本大震災からも復興をしています。

日本人の持つ力というものには素晴らしいものがあります。

ガンバレにつぼん。

村中仁司